

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	各種検診事業	コード	02-02-02-02	担当課係	保健課健康係
事業実施期間	昭和46年～	担当者	横山 和代	電話	64-1820
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり			
	小項目	成人保健(歯科保健を含む)			
	施策	各種成人健康診査			

事業について	
目的	生活習慣病、がんの予防・早期発見
対象 (誰のために)	40歳以上(子宮がん検診は20歳以上、乳がん検診は30歳以上)の市民
内容	各種がん検診の実施(子宮がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、肺がん検診、前立腺がん検診)

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
子宮がん検診	1,999人 22.0%	前立腺がん検診	
胃がん検診	3,319人 受診率 30.8%	受診者数	1,424人
大腸がん検診	3,533人 診率 31.6%	受診率	51.8%
乳がん検診	2,796人 率 34.0%		
肺がん検診	6,662人 59.4%		

事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源	
	直接事業費 34,639	国県補助金等	直接事業費	国県補助金等	直接事業費	国県補助金等	
	人件費 12,592	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	
	市債	4,976	市債	0	市債	0	
合計	47,231	一般財源等	42,255	合計	0	一般財源等	0

必要人員	2.07人		
結果指標①	各種がん検診受診者数		
結果指標量	19,733		
単位	人		
対前年比	—	0.00%	
事業費	47,231,000円		
単位当たりコスト①	2,394円		
結果指標②	精密検診対象者数		
結果指標量	985		
単位	人		
対前年比	—	0.00%	
事業費	47,231,000円		
単位当たりコスト②	47,950円		

事業の成果			
成果指標名	各種検診平均受診率	式又は説明	全検診受診者延数/全検診対象者延数
成果指標量	17年度 38.3%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	40.0%	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	がんの早期発見と生活改善のため重要な事業である。また、検診を受ける機会の少ない市民は多く、早期発見の機会となっており、市民のニーズも高い。対象者については、特に婦人科がんについて岡山県独自の方針があり、当市では岡山県方式に準じている。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	肺がん受診率 60.0% 大腸がん受診率 30.0% 子宮がん受診率 30.0% 乳がん受診率 30.0% 前立腺がん受診率 30.0%
	手段の最適化	健康びぜん21では上記の受診率を目標としていたが、今年達成されたものもあることから、更なる受診率の向上を目指して市民が受診しやすい体制を調整していく必要がある。
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	検診を受けることにより疾病を早期発見・治療ができ、健康管理の意識を高めることができる意味で、受診者には有効である。また子宮がん・肺がんに関しては目標値を達成しておらず、がん罹患者も増加していることから更なるPRが必要である。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	コメント	評価区分
	受診率の更なる向上のため、全ての検診が備前・日生・吉永の全地区で受診できるよう調整していく予定である。市民の意識向上のため、愛育委員や栄養委員らの協力のもとにPRを強化したり動員方法を検討する必要がある。また近年では検診の精度も問われ、医療機関との連携が重要になってきている。	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 19,900	結果指標量②
目標値	成果指標量 39.0%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	愛育委員や広報などによる受診勧奨、電話や訪問による精検受診勧奨	随時	検診受診率及び精検受診率の向上
妥当性	備前・日生・吉永の全地区で検診を受診できるよう調整する。	平成18年度	検診によるがん発見は早期がんが9割であるため、医療費も進行がんの2~5分の1に抑制できる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。